

たんぽぽ



西東京市立柳沢中学校

第1学年便り

令和6年11月29日

No.20

人権週間とは

「自分もお友達も一人ひとり違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える一週間です。」

1948年12月10日、第3回国際連合総会で「すべての人間は生まれながらにして自由でありかつ尊敬と権利について平等である。人間は理性と良心を授けられており、互いに同胞（同じ母から生まれた兄弟・姉妹）の精神をもって行動しなければならない。」と、人間の自由、尊厳、権利、平等を掲げた「世界人権宣言」が採択されました。そしてこれを記念して国連では12月10日を「世界人権デー」と定めています。わが国では、1949年から「12月10日」を最後とする1週間を人権週間として人権について考える日々とし、様々な取り組みを各地で行っています。

今年の「人権週間のポスター」では「誰か」のことじゃない。と書かれていました。いじめや虐待、子どもの人権問題、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別など多様な人権問題が依然として存在しています。自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが大切ですね。

今一度自分の行動や考え方を振り返ってみましょうね。
校外学習ということで10月30日（木）川越に行ってきました。雨が心配されましたが、良い天気です予定どおり見学先をまわることができました。

校外学習 C組 M R

ぼくは、校外学習でよかったと思うことが2つあります。

1つ目は、お金の使い方です。何円使えるのかが決まっている中で、間違えて使うところがなかったので良かったです。神社の中でおみくじを引いてから、何か買おうと思ったけれど、がまんすることができました。その結果、自分の家族へのおみやげを2つ買うことができました。余ったお金で自分の食べ物も買うことができたので良かったです。今回のことを修学旅行にもいかしていきたいと思います。

2つ目は、安全を第一に考えて行動することができたことです。先生方が言っていた、「安全を第一に考えて、見学してこいよ」という、言葉をしっかり守れて良かったです。信号をよく見て歩いたり、道路のはばに合わせて、列を2列から1列に変えて動いたり、走って行動することがなかったりと、安全を第一に考えて行動することができたので、良かったです。

今回の校外学習のことを、1年後の都内めぐりや、2年後の修学旅行にいかしていきたいと思います。



B組 T A

中学生になり、初めて班行動というある程度自由に行動ができるようになりました。これからにも関わってくるし、安全のためにも、誰かに迷惑をかけない、交通安全を守るなど注意すべきことがたくさんあり、楽しみという気持ちと不安がありました。でも、単独行動をしたり、失礼な態度をとったりなどはなかったので良かったです。でも、声が少し大きくなってしまふなどは多かったなのでそこは改善すべきところだと思います。それでも、皆楽しそうに大きな問題も起こさず、終われたため、良かったと思います。

しかし、そこで少し問題が起きてしまいました。

その問題とは、班員の一人が市立博物館に傘を忘れてしまったことです。そして、一度本部に連絡をしようとお店の電話を借りようと話していたところ、通りかかった男性が携帯電話を貸してくれました。



電話をかけたのですが、つながりませんでした。しかし、携帯電話を貸してくれて、電話をかけている間に優しく話してくれて本当に感謝しています。その後、市立博物館に傘をとりに行きました。その時は、もう後半だったため、皆疲れていましたが文句などは言わず、付いていったのでこのようなところでも絆を感じました。その後は、お土産を買ったり、食べたりして楽しみました。

これから、スキー教室があるので今回の悪いところは改善し、良いところはそのまま継続していきたいと思います。事後学習も手を抜かずに行います。大きな事が無くて良かったです。

